



香川大学 (香川県)

地域に根差した学生中心の大学

■大学紹介

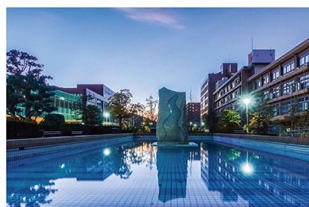
① 大学の特色及び概要

1) 概要

香川大学は1949年に設置されました。2003年10月にそれまでの香川大学と香川医科大学が統合され、新しい香川大学となりました。教育学部、法学部、経済学部、医学部、創造工学部および農学部の6つの学部を持つ総合大学です。修士課程は、創発科学研究科（教育学、法学、経済学、工学的分野を含む）、医学系研究科、農学研究科を、博士課程は、医学系研究科、創発科学研究科、連合農学研究科を、また、専門職学位課程は、教育学研究科、地域マネジメント研究科を有しています。

2) 学生数・教員数（2025年5月1日現在）

- ・学部学生数：5,635人
- ・大学院学生数：854人
- ・教員数：640人
- ・職員数：1,287人



② 国際交流の実績

2025年5月の時点で、59の大学や機関と大学間協定、39の大学や機関と部局間協定を締結して、世界中の大学と学術交流や学生交流を実施しています。加えて、7団体との連携協力協定も締結して、複数大学間での国際的な協力体制を築いています。

（香川大学概要2025-2026より）



3大学合同シンポジウム（タイ）



学生交流プログラム（インドネシア）

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生（日研生）の受入れ実績

2025年：留学生数190人、日研生2人（10月時点）
2024年：留学生数208人、日研生1人
2023年：留学生数183人、日研生3人
（日研生出身国：韓国、タイ、キューバ、メキシコ、ブラジル）

④ 地域の特徴

香川県は、四国の北東部に位置します。瀬戸内海に面しており、四季を通じて降水量が少なく、温暖な気候です。香川県で最も有名なものは、おそらくうどんですがオリーブやうちわなども有名です。皆さんが住む予定の高松市は、コンパクトシティと言われていています。日本一長い商店街のなかにたくさんの商店があり、自転車で行くことができる範囲でなんでも揃います。



■研修・コースの概要

① 研修・コースの目的

a) 主に日本事情・日本文化に関する研修

② 研修・コースの特色

本コースは、日本文化、特に香川県に関する知識の習得、そしてそれらの知見を実践的に活用する能力の向上を目的としています。そのため、それに必要な日本語力の向上の機会も提供されます。

③ 受入定員

5名（大使館推薦3名、大学推薦2名）

④ 受講希望者の資格、条件等

- ・ J L P T : N 2 以上、または同等の日本語能力を有すること。
- ・ 国費留学生として、各種交流活動や本学の国際化のための活動に積極的に参加すること。

⑤ 達成目標

- ・ N 1 または同等以上の日本語能力を習得する。
- ・ 日系人枠の受講者の場合は、N 3 または同等以上の日本語能力を習得することを目指す。
- ・ 各種プレゼンテーションを含む、日本語の実践的能力を向上させる。
- ・ 香川県に関するトピックを自ら選定し、レポートとしてまとめることができる。

⑥ 研修期間（在籍期間）

研修期間：2026年9月下旬 ～ 2027年8月下旬
（在籍期間：2026年10月1日～2027年8月31日）

⑦ 奨学金支給期間

2026年10月 ～ 2027年8月

⑧ 研修・年間スケジュール

※日程は年度により変わります。

- 9月 渡日
10月 新入留学生ガイダンス、開講式
11月 大学祭
12月 ホームビジット
1月 留学生のつどい
2月 ビジネスマナー講座
7月 日帰り島旅行
8月 修了式

8月下旬：帰国

他にも交流や学習のためのイベントが行われます。



学生によるプレゼンテーション



授業で学生交流

⑨ コースの修了要件

本コースの修了要件は、授業の履修（⑩参照）および最終レポートです。最終レポートは、日本（特に香川）や日本文化に関するテーマを選び、指導教員とよく相談しながら、論文の形に仕上げます。これらの条件を満たした修了生には、修了証書を発行します。履修登録した個々の授業に関しては成績証明書が発行されます。

⑩ 研修・コース科目の概要・特色

1) 研修・コース科目の特徴

日本語の基礎能力を向上しつつ、本人のレベルや興味に応じた受講ができること。
受講する科目の数等については指導するが、科目自体については自国の所属大学における専門ないし既習科目と関連する科目も受講可能であり、より深いレベルでの日本文化研修が可能となる。

2) 研修・コース開設科目

I) 必須科目

- 日本語 I c（15コマ、22.5時間）
・・・中上級レベルの作文
プロジェクトさぬき（8コマ・12時間）
・・・香川県の課題に関するプロジェクトワーク、日本人学生との共修

II) 選択科目

- 上記以外の日本語科目（15コマ、22.5時間）
・・・中上級～超級の4技能（読む・書く・聞く・話す）
日本事情科目（8コマ、12時間 または 15コマ、22.5時間）・・・日本の文化・社会・歴史・国際貢献などについて学ぶ

必修科目・選択科目を合わせて各学期週7科目以上を受講する。取得単位数は履修科目による。
（1科目1単位または2単位）

3) 研修科目で地域の見学や地域交流等の参加出来る科目及びその具体的な内容

基本的には、本学の場合はこの種の科目は学部における正規生が対象なので、本研修での参加は認められないが、授業以外に各種の地域交流を多数用意している。「⑧研修・年間スケジュール」を参照。

4) 日本人学生との共修がある科目及び具体的な内容

上記2) I) の「プロジェクトさぬき」。
その他、選択した場合には日本語による共通科目や専門科目。

⑪ 指導体制

学術的な指導は、指導教員により行われます。インターナショナルオフィスの高水徹・塩井実香のいずれかが指導教員となります。

生活面での指導や支援は、インターナショナルオフィスが担当します。

また、学生によるサポート体制も整っており、サポーター、チューターがそれぞれ生活面と学習面で支援します。



海岸でのフィールドワーク



日研生が自分の国について説明

■宿 舎 (2025年10月現在)

香川大学には、2つの留学生宿舎があります。入居については本コースの申請時にお尋ねください。

- ・花園寮 (室料 ¥22,500/月)
- ・留学生会館 (屋島) (室料 ¥8,000/月)

(ウェブサイト-香川大学留学生宿舎)

花園寮

https://www.kagawa-u.ac.jp/files/5116/5655/9308/hanazono_nyukyobosyu.pdf

留学生会館 (屋島)

<https://www.kagawa-u.ac.jp/files/9712/8270/9953/outline%20of%20house.pdf>

過去3年間の日研生の宿舎入居状況

- | | |
|-------------|----|
| ・2025年度：花園寮 | 2名 |
| ・2024年度：花園寮 | 1名 |
| ・2023年度：花園寮 | 3名 |



留学生会館 (屋島)



花園寮



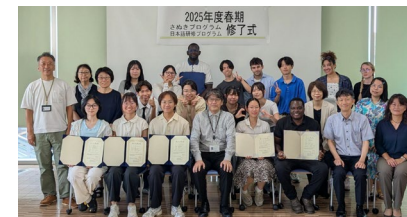
宿舎での流しそうめん

■修了生へのフォローアップ

本コースは1年で帰国することを前提としています。さらに本学の大学院進学等のため、各部署に問い合わせることが可能です。

また、いくつかの国や地域に関しては、すでに帰国留学生ネットワークが形成されています。

その他、SNSを通じた交流も行われておりますので、下記のFacebook等をご参照ください。



■問合せ先

<担当部署>

香川大学教育・学生支援部国際課

住所：〒760-8521

香川県高松市幸町1-1

TEL：+81-87-832-1149 (直通)

FAX：+81-87-832-1192

Email：ryugaku-h@kagawa-u.ac.jp

<ウェブサイト>

香川大学

<https://www.kagawa-u.ac.jp/>

香川大学インターナショナルオフィス

<https://www.kagawa-u.ac.jp/kuio/>

日研生向けページ

https://www.kagawa-u.ac.jp/kuio/isc/study_in_kagawa/jss/

香川大学留学生センターFacebook

<https://www.facebook.com/KUISC>